

長崎節夫氏に対する外務大臣表彰伝達式の開催

1 11月9日、宮川所長は北スラウェシ州ビトゥン市在住の長崎節夫氏（北スラウェシ日本人会員）に対する外務大臣表彰伝達式を開催しました。

2 沖縄県出身の長崎氏は、1997年頃から、北スラウェシ州で戦前及び戦中に活動していた日本人関係者の荒れ果てた墓地・慰霊碑のマナド・ビトゥン地区への移転・整備に尽力され、その後、現在まで長年にわたって同墓地・慰霊碑の維持管理に努められてきました。

3 本年、日本・インドネシア国交樹立60周年を迎えるにあたり、長年にわたり現地邦人社会の発展に尽力しながら、その活動を通じて日本とインドネシアの友好親善関係の促進に大きく寄与された功績が評価され、外務大臣表彰の受賞に至りました。

4 同式は長崎氏のご親族及び北スラウェシ日本人会員の同席の下行われ、宮川所長から、これまでの長崎氏の貢献に対する謝意を述べるとともに、表彰状及び副賞を贈呈しました。



参考：外務大臣表彰は、国際関係の様々な分野で多くの方々が活躍し、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている中で、特に顕著な功績のあった個人及び団体について、その功績を称えるとともに、その活動に対する一層の理解と支持を国民各層をお願いすることを目的としています。